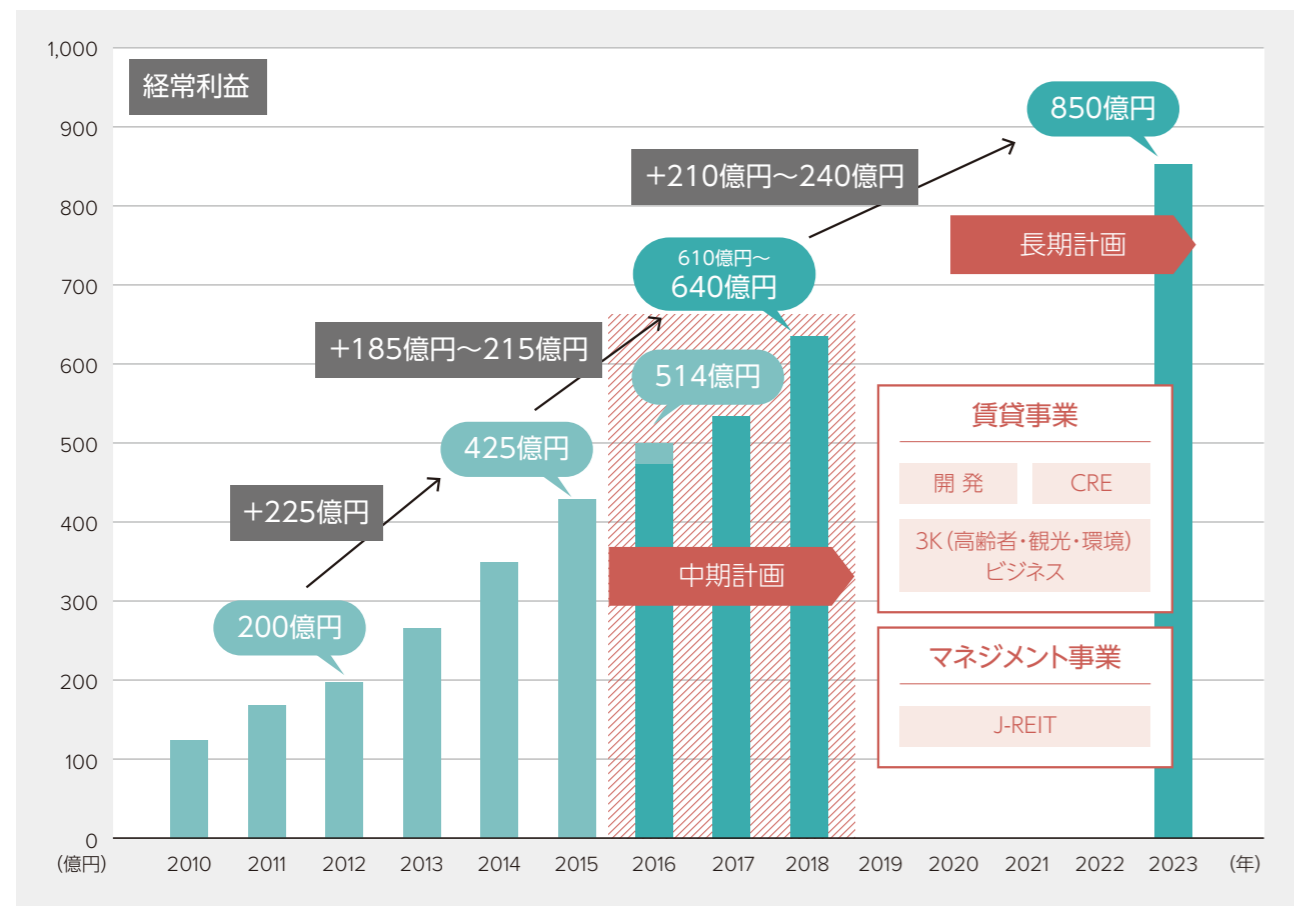




ヒューリックスタイルのビジネスモデルを更に進化させ、高い成長を実現します。

ヒューリックグループでは、2014年度を初年度としてスタートした中期経営計画(2014~2016)を1年前倒しで達成することができました。このため2023年までを展望した長期計画「10年後のヒューリック(2014~2023)」の第2ステップとしての現中期3ヵ年計画(2016~2018)を策定しました。2017年度におきましても、変革とスピードを徹底し、現中期計画の早期達成に向け事業基盤の維持・発展を進めてまいります。

長期計画「10年後のヒューリック(2014年~2023年)」



数値目標

2023年に経常利益850億円を目指します。

基本戦略

1. 賃貸事業での安定的収益を確保しつつ、開発事業・マネジメント事業・CRE事業の展開など、賃貸事業に近い領域で収益分野を拡げ、利益成長と収益の安定性の両面を具備した事業構造とする。さらに、高齢者向けビジネス・観光ビジネス・環境ビジネス(3Kビジネス)を中心に、時代のニーズに即した成長分野で事業領域を開拓・拡大する。
2. 財務の安定性・事業リスク管理に留意し、市場の高い信頼を受ける企業となる。
3. **CSR経営をさらに発展させ、社会的存在意義の高い企業となる。**
 なお、女性の活躍できる企業を目指し、2020年の女性管理職比率20%を目標とする。

中期3ヵ年計画 / 2016年~2018年

目指す姿

賃貸中心に事業をフォーカスしつつ、時代のニーズを先んじて捉える革新性を追求することにより、高い生産性と成長を実現する

「10年後のヒューリック」に向けた第2フェーズとなる本中期計画期間に、長期計画の前倒し達成に向けた道筋をつける

事業戦略

1. **強固な賃貸ポートフォリオの構築**
 - 建替の着実な推進によるポートフォリオの質的向上
 - CREなど戦略的ソーシングによる着実なポートフォリオの拡充
 - 戦略的・計画的なアセットマネジメント業務推進による収益機会の極大化
2. **不動産バリューアッドビジネスの推進**
 - ヒューリックサイズの高品質・好立地物件での開発事業の推進
 - 様々なニーズを捉えた、アキュジション・バリューアップ・売却の推進(リパッケージ取引等)
 - スポンサーサポート契約に沿ったヒューリックリートへの支援強化
 - オフィス系に加え、商業系にも強みを発揮するリーシング体制の強化
3. **3Kビジネスの深化と新規事業領域の開拓**
 - 高齢者、観光、環境さらには融合ビジネスやシーズビジネス等、社会構造の変化に対応した新しい不動産事業領域開拓
4. **グループ総合力の発揮**
 - グループ会社の総合力向上と、外部プレーヤーとのアライアンス・M&Aへの柔軟な取り組み
5. **リスク管理の徹底**
 - 財務統制による財務内容の健全性確保とグループ事業リスク管理の徹底
6. **持続的成長のためのバランス経営の実践**
 - ESGの課題に取り組むなど、バランスのとれた経営をもとに、社会的ニーズに対応した価値創造を進める

利益計画	2016年度実績	2018年度目標
営業利益	533億円	670~700億円
経常利益	514億円	610~640億円
当期純利益	348億円	390~410億円
EBITDA	664億円	820~850億円
財務規律		
有利子負債対EBITDA倍率	10.0倍	12倍以内
ネットD/ELレシオ	2.1倍	3.0倍以内
資本効率		
ROE	10.7%	10%以上
株主還元		
配当性向(期末簡易計算)	32.0%	30%以上

バランス経営の実践

- 環境に配慮したビジネス展開 (E: Environment:環境)
- ステークホルダーとの関係強化 (S: Social:社会)
- 強固なガバナンス体制 (G: Governance:企業統治)

